

発言通告書の要旨(一般質問)

令和4年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/14 (月)	1	21 為広員史	1、人口減少対策について	人口減少の実情と対策について聞く。
			2、小中学校の給食費の無償化について	子育て世帯の負担を少しでも軽減させ、安心して子育てできる環境を整備できないかを聞く。
			3、18歳までの医療費無償化について	子育て世帯の負担を少しでも軽減させ、安心して子育てできる環境を整備できないかを聞く。
			4、永康病院の全建設費・設備費と今後の運営方針について	当初の計画どおりの費用でいけるのか、またその費用はいくらなのか。また開院後の運営方針について聞く。
	2	11 高木 修	1、市役所職員の女性登用について	世の中全体の風潮として、女性の社会進出は進み、幹部職への登用も増えていると思う。具体的に市役所の職場を例にとると、課長級以上のポストに女性がどのくらい登用されているか。過去3年の経緯を示していただきたい。
			2、先の市議会議員選挙における投票率の評価について	54.25%と、前回の59.37%を5.12ポイント下回り、市発足以来最低を記録。原因はさまざまなことが考えられるが、選挙管理委員会事務局としてはどのように分析されているか。
			3、建設工事における、「原材料支給制度」の予算について	身近な補助制度として、市民に広く知られている。1工事あたり、原材料費30万円、重機代15万円、合計45万円が支給限度となるが、ここ2年間にわたり、9月・10月頃に年間予算が枯渇してしまい、工事が翌年度回しとなるケースも少なくない。工事案件が多すぎるのか、それとも予算が少なすぎるのか執行部としてどのような改善策を考えておられるか。
	3	3 瀧本哲史	1、三豊市の教育現場における教員の負担軽減について	近年、教員の志願者が減少傾向にある。一つの原因として、教員の過重労働が専門家から指摘されている。教員不足は、子どもの将来に多大な影響を与え地域の社会的損失や経済的損失につながる。このような過重労働と言われる状況を教育委員会はどうに認識されているか。また三豊市独自の教員の業務内容等についてお伺いする。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和4年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/15 (火)	4	15 水本真奈美	1、がん対策について	(1)コロナ禍の影響で、がん検診受診者が減少し、診断の遅れによるがんの悪化が懸念される。がん検診はがんの早期発見に重要であり、コロナ禍における受診率向上のための取り組みを伺う。 (2)がんになっても安心して暮らすことのできる環境の充実(がん患者へのアピアランスケアサポート・在宅ターミナルケアサービス)について考えを伺う。 (3)がん教育におけるこれまでの取り組みと更なる推進について伺う。
			2、ひとり親の貧困対策について	女性活躍・男女共同参画重点方針2021において女性の直面する困難への対応と各種制度の整備等について、養育費不払い解消が掲げられた。養育費の確保等は経済的基盤の弱いひとり親家庭にとって重要である。公正証書等作成費補助並びに養育費保証契約に関する保証料補助など、養育費不払い解消に向け、積極的に取り組む考えを伺う。
			3、障がい者が社会参加しやすいまちづくりについて	デジタル障がい者手帳(ミライロ ID)活用による障がい者の外出・社会参加支援について取り組む考えを伺う。
	5	18 横山 強	1、コロナ感染予防対策について	(1)三豊市はコロナ感染減少に向けての取り組みとして、議場全体・各委員会室・各所管の職場等で、今の現状で感染予防としているのか、広範囲に伺う。 (2)1の質問に対し、三豊市の各職場で感染状況による、今後、コロナ等による感染予防に対する政策を広範囲に伺う。 (3)三豊市民にコロナ感染が発生して、現在まで感染者数、感染後による後遺症となっている市民の把握と、コロナ感染で、後遺障害による生活困窮者に対する、無償医療と生活支援とする政策を、三豊市政独自の取り組み等を広範囲に伺う。
			2、新三豊市立病院事業の地中障害物撤去費に伴う監理費減額等について	(1)令和3年12月一般質問で、地中障害物撤去費に対する答弁、施工業者・設計監理者・CMに監理費の減額に対し、三豊市政の対応等、令和4年3月までの成果を広範囲に伺う。 (2)三豊市政は、令和3年12月から、令和4年3月現在、施工業者、設計監理者、CMに監理業務費に対し、減額処置を示したのか等、広範囲に伺う。 (3)令和3年12月の補正予算地中障害物撤去費の執行についての問題点等を、広範囲に伺う。 (4)令和3年12月の一般質問で、市長は、地中障害物撤去費に対する監理業務委託費の減額に対する、業者間と今後の取り組みとした答弁等に対し、広範囲に伺う。
	6	1 西山彰人	1、新型コロナウイルス感染者への援助について	新型コロナウイルスに感染し亡くなられた遺族への支援やその心情にどのように関わるのか伺う。
2、三豊市の祭りやイベントに対する対応について			祭りやイベントの補助金などの支給方針は様々な議論の上で決定したのに、元に戻っているが、どのような議論の結果なのか伺う。	
3、職員の採用辞退や早期退職の対策について			職員採用時に合格者の辞退が多くあると伺ったがその後どうなっているのか、また早期退職者が多くいると聞いたがその対策と分析結果がどうなっているのか伺う。	

発言通告書の要旨(一般質問)

令和4年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/15 (火)	7	湯口 新 <sup>6</sup>	1、子育て環境の充実のために	子育て環境の充実を進める上で、子育て世代の気持ちや意見をもっとしっかり聞ける三豊市になるべきだと感じている。市の考えと対策を聞く。
			2、『子どもの貧困』対策について	『子どもの貧困』対策は急務である。考えと対策を聞く。
			3、健康でいられるまちづくりについて	(1)健康になれる、健康でいられるまちづくりのためには、「歩けるまちづくり」等、普段から運動ができる環境整備が必要だと考える。施政方針に書かれている内容以外にどのようなまちづくりを考えているか伺う。 (2)市内にある各種公園をさらに使いやすくするために、管理体制を整えるべきだと考えるがいかがか。
			4、健康について	「健康」には肉体的健康と精神的健康、社会的健康があると言われるが、コロナ禍もあり精神的健康、社会的健康が満たされていない市民が増えているように感じる。市の現状認識と対策を聞く。
			5、サンスポーツランドテニス場について	サンスポーツランドのテニス場のコート改修の予定は。
	8	金子辰男 <sup>5</sup>	1、市長の施政方針について伺う	農業問題、その他の問題について伺いたい。農業については、新たに、地域おこし協力隊を1名、薬用作物の地域プロジェクトマネージャーを1名と人材育成に力を注ぐようになってきているように感じられる。実際に農業に携わる人に対する力、テコ入れにはならないのではと考えるが市長の考えはどうか。三豊市独自の脱炭素社会についても詳しく伺いたい。
			2、学校現場の実態と改善について	学校現場での先生方の仕事量、実態について伺う。現状は教育委員会と学校現場の先生の仕事の割り振りや業務の押し付けなどがあるのではないかと。学校の先生はあくまでも子どもと接し、子どもへの教育が一番。そうあるべきと考える。果たして今、そういう現場であるのか。もし、学校現場が生徒と接する時間を軽減して他の業務に取り組みなくてはならないのなら、改善できないのか伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和4年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/15 (火)	9	12 岩田秀樹	1、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて	今回の「第6波」の中で感染が大きく広がった。学級閉鎖、学校閉鎖も行われ、濃厚接触者の判定、そのための検査などが数多く行われた。 今回のオミクロン株、伝染が早く、検査の結果が出るまでに早くする取り組みはできないのか。 PCR検査の試薬・検査キット確保対策と早い検査体制の確立をどう進めるのか。県は知事の要請に基づくものは無料のPCR検査としているが市の取り組みはどうか。
			2、エアコン購入に対する助成について	新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅で過ごす時間が長くなった高齢者の熱中症緊急対策として、居宅にエアコンがない高齢者が新たにエアコンを購入・設置する費用の一部助成を求めるものである。 地元業者が対応し経済活性化にもなると考える。
			3、35人以下の少人数学級実現と教科担任制の実施について	三豊市は昨年中学3年までの35人学級実現し、県においても今年度より中学3年までの小中学校全学年で35人学級実施を推進している。実施計画はどうなっているか。小学校の教科担任制が4月から始まる計画だが、年度当初からの教員不足が叫ばれる中、取り組み状況はどのようになっているのか。
			4、ケア労働の処遇改善の取り組みについて	政府においては、ケア労働者に対する「処遇改善」の取り組みが行われている。今回の処遇改善は、看護・介護・保育士・学童保育などの職員を対象に3%引き上げを行おうというが、制度はできても、自動的に賃金が上がるものではない。介護職員・保育士・学童保育指導員の実態はどうなっているか。
			5、三豊市の学校適正規模適正配置の考え方(素案)について	令和30年までの動態変化を見ようとはか感じない。25年後であれば、子どもの人口増の可能性もある。縦割り検討でなく、総合的な地域計画が必要と考える。 教育的観点から、教育委員会は子どもの減少の要因は何で、なぜ増加に転じないと考えるか。